

京都舞鶴港清掃船「双鶴丸」項目

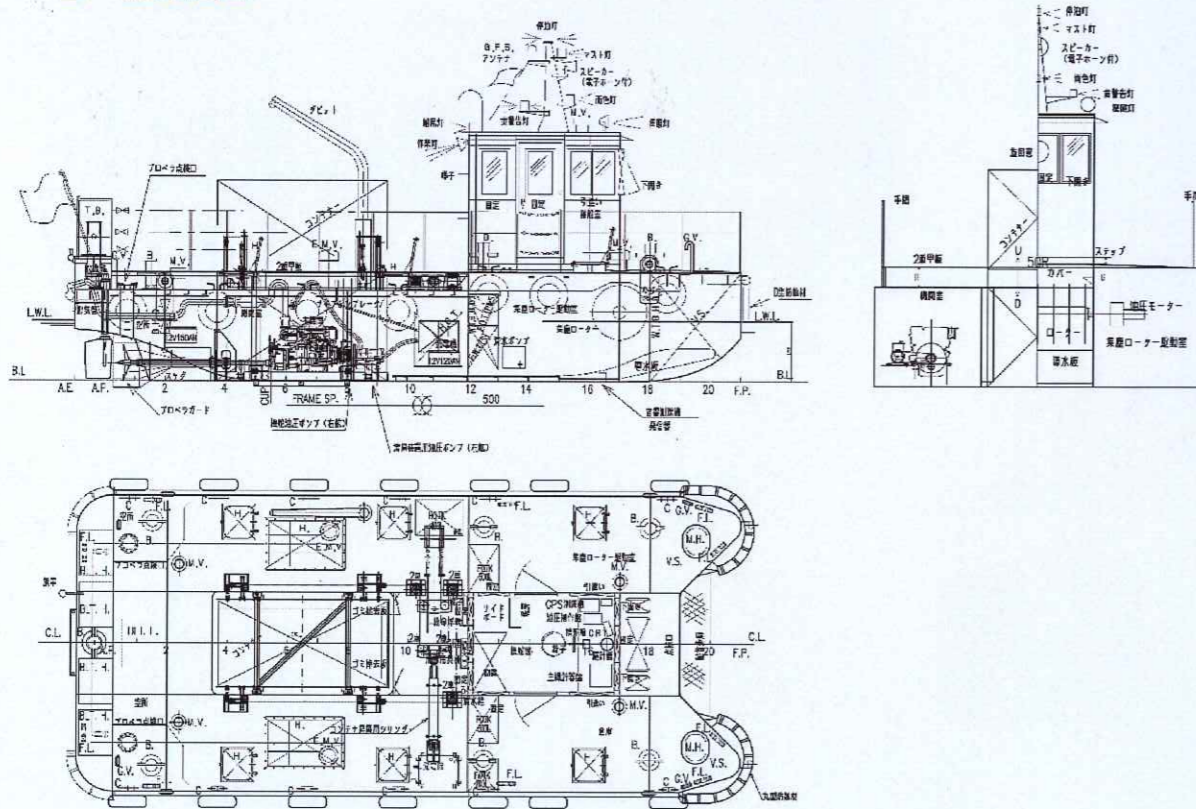
■主要目

全長	11.00m
全幅	4.90m
単胴幅	1.60m
深さ	1.50m
喫水	1.00m (計画満載)
総トン数	9.1トン
航行区域	平水区域
速力	約6ノット(試運転時最大)
主機関	110kw 2基
船質	鋼
最大搭載人員	8名

■主要設備

集塵ローター装置	1式
集塵コンテナ	1個
集塵コンテナ昇降装置	1式
ダビット	1基
曳航用クロスビット	1個
カラーGPSプロッタ魚探	1台
発動発電機	5kw 1基

■一般配置図



京都舞鶴港
清掃船「双鶴丸」



京都府建設交通部港湾課 TEL(075)414-5301 京都府港湾事務所 TEL(0773)75-1174
 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 〒624-0945 舞鶴市喜多 1105 番 1
 建造請負業者 (株)呉ダイヤ 広島県呉市海岸 4 丁目 7 番 1 号
 基本設計・建造監理 一般社団法人日本作業船協会 東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号



平成 27 年 3 月

京都舞鶴港清掃船「そうかくまる双鶴丸」を新規建造しました

この度、京都舞鶴港の新しい清掃船が就航の運びとなりました。

旧清掃船は、昭和54年に建造されたもので、36年間、大きな事故もなく港内の海面清掃に活躍してきましたが、老朽化が著しく、新船へとバトンタッチすることになりました。

京都舞鶴港は、平成23年に日本海側拠点港に選定されたことを受け、国際海上コンテナ、国際フェリー・国際RORO船、外航クルーズの3機能の充実を目指しており、国際貿易港として期待が高まっています。

京都府では、こうした要請に応えるため、港の整備と振興に力を入れています。今回の新清掃船についても、航行能力や機動性を強化し、船舶の安全航行に寄与できるようにしています。



旧双鶴丸ゴミ回収状況（平成23年5月 台風2号のとき）



京都舞鶴港清掃船「双鶴丸」の特徴

1 機動性の向上

○東港まで約1時間程度で到着出来るよう、速力約6ノット（試運転時最大）を確保しています。（ゴミ回収時は約2～3ノット）

[1ノットは1.852km/h]

○船尾にオイルフェンス曳航用のクロスビットを設置しました。

○左舷に大型ゴミ対応のダビット（手動）を設置しました。



クロスビット



ダビット

2 回収能力の向上

舞鶴港内における漂流ゴミの実態から、導水装置は、木、竹、葦類への対応に適した、集塵ローター方式を採用しています。

集塵ローターを回転させ水流を起こし、ゴミを後部の集塵コンテナに導きます。



集塵ローター

3 航行安全性の確保

カラーGPSプロッタ魚探、航海用レーダー反射器の装備により、安全で確実な航行を確保しています。



カラーGPS



レーダー反射器

4 作業安全性の向上

後部甲板を二重構造とし、コンテナ昇降用油圧シリンダ等の可動部を全て甲板下に収納することにより、作業環境と作業安全性の向上を図っています。



甲板内部の状況